

道東地区教会連合会機関誌



道東 54 こ う ほ う 光 報



'DŌTŌKŌHŌ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.54 Apr.,2025

巻頭言 『天地金乃神様の怒り 生神金光大神様の苦悩』

釧路教会長 江郷繁樹

待ちに待った二十一世紀
と言われた歴史の流れも四
分の一を過ぎ、二〇二五年を

歩み続けている。歴史の長さ
は、人間が獲得した時間の長
さだが、その間、人間の生活
の仕方は変わってきている
が、地球を大地とする太陽系
の天地と人間の歩は、変わら
ないものがある。

変わらないものの一つは、
空気である。天地金乃神様が
調べてくださった空気は、人
間には解らない、四十六億年
前に起こったと言われている
ビッグバンの後、太陽と名
付けられた恒星と、八つの惑
星と無数の小惑星、さらに多
くの砂塵群である。
その太陽系の中に、生命が

生まれたのはおよそ四〇億
年前をいわれている。

だが、八つの惑星の一つ
に、水の惑星と言われる地球
と名付けられた惑星があり、
その水・海の中で、生命が生
まれたらしい。生命の基は地
球に落下した隕石とも言わ
れるが、生命として生まれた

のは海中の中で、その生命の
活動が、海藻という植物が、
沢山の酸素を生み出し、オゾ
ン層ができて有害な紫外線
から生命を守った。そんな生
命が生命として活動するの
に、最適な環境を作ってくだ
さったのも、天地金乃神様の
働きと考えると良いでしょう
か。
その地球上の生命の活動

は、まさに、ウイルスから
細菌に、生きるものの進化
によって、環境によって、
魚に、昆虫にとダーウイン
の進化論の如しだろう。そ
して、自ら考え、行動する
人間にと、進化し続けてい
る。

人間は、人間として、な
ぞか集団生活をしている。
民族は民族として、守って
いた国も、だんだんの多民
族国家となっていくことだ
ろう。だが、どんな国家に
なっても、動植物を含めて、
人間のすべての営みは、空
気と共にである。
近年、この空気が怪しく
なってきた。つまり、
地球温暖化である。

世界は、この温暖化を少しでも抑えようと躍起になつているが、化石燃料と言われる燃料を、あるだけ

使えと言う政治家までもが現れた。これだけ、異常気候、異常気象が続き、台風の大形化、強風、豪雨、暴風雨が續いてもだ。それでも、天地金乃神様の働きは、気候も氣象も、元に戻そう戻そうと働いている。

その天地金乃神様が荒れると、災害という現象が現れる。暴風雨の他に、火山噴火や地震、そして、山林火災や黄砂などである。

先日、三月二十六日の「毎日新聞の余録欄に、鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡（アズマカガミ）」に「泥が雨に混じつて降った」という記録があり、「希代の怪奇なり」と記されているそうだ。

一二六六年（文永三年）旧暦2月。新暦ならちようどいまごろだろうか。

近年「春の5K」なる言葉が定着しているらしい。乾燥、強風、寒暖差、花粉に黄砂という。これには、天地金乃神の横暴も、天地金乃神自身も四苦八苦し、生神金光大神様も苦悩していることではないかと思うが、人間の知恵で何とか乗り越える方法はないものか。乗り越えて元氣に生きることができれば、生神金光大神様も天地金乃神様も喜んでくださるのではないかと、生神金光大神様をお願いしています。

教会掲示板

教会からあれこれ

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二四三三九五
FAX 〇一五二四三三九五

日々教主金光様の御祈念と御取次を頂いて、私たち信奉者おかげを蒙っていること誠に有り難いこととお礼を申し上げます。

今年には色んな面で節年の年です。阪神淡路大震災30年、オウム事件30年、そして、早いもので網走教会長のご用いただき5年を迎えます。令和2年コロナウイルス感染症が流行し始め、4月には緊急事態宣言が発令され、各行事、大祭の縮小、信徒会活動の中止、交流を最小限に抑えての教会活動。本部においても参拝の中止もあり

ました。令和5年3月には、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本になりました。徐々に感染者も減少して、ご都合お繰り合わせのなかおかげをいただき5年が過ぎました。2年前は信奉者のお祈り添え、多くの人のお世話を頂いて網走教会布教百年祭を迎え仕えることが出来ました。昨年は4年ぶりのチャリティーバザーを開催することが出来ました。誠に有り難いこととお礼を申し上げます。また連合会の交流も再開されました。この5年間で、会議等も変わり、リモート会議が増え、メール、LINEなど今まで出来なかったことも出来るようになり、交流面、時間、財の面でも余裕が出来ました。社会、経済も大

大きく変わりましたが、5年間、日々教会は信奉者がお守りくださり、お祈り添えいただきながら道中事故もなく、1月3日新年祭から月例祭、月例霊祭、春秋の大祭、みたままつり、勸学祭、宅祭、越年祭、葬儀などご都合お繰り合わせを蒙り、滞ることなくご用が出来たこと誠に有り難くお礼を申し上げます。

(田中)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―三三六八三五
FAX 〇一五五―三三六八三五

2月4日観測史上最多12時間で120cmの大雪が降りました。3日の夜は、まだそれほどでもなかったのですが、予報は50cmとありましたが、気にしながらも就寝しました。ところが

4時頃に外を見てみるともう雪は胸の処ぐらいまで積もっており、大雪で大変なことになっていました。すぐに起き、除雪の準備に取りかかるといっても、あまりの雪。少しづつ、雪をかき分け、除雪機までたどり、玄関前から徐々に除雪を行いました。結果終了まで2日間かかりました。有り難いことに多くの方々から教会が雪の重さで潰れたのではないかと心配の電話、メールを頂きました。本当に潰れるのではないかと思います。

しかし、4日後には積雪85cmになり、日ごとに雪が溶けていきました。人間の力では限界があります。広大な大地一面の雪を天地の働きで溶かしてくださいませ。

「氏は、人から出る日給はわかるが、神から出る日給は

わかるまい」とあります。私はこのご理解を「神様の働きによって溶かしてくださいませ」と理解していき、改めてお礼を申し上げます。

この天地金乃神様のお働き恵みによって私たちは生きられるのです。そのお働きにお礼申す大祭が仕えられます。御都合お繰り合わせの上おかげを蒙ってまいりたいと祈念しています。

(田中)

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四一七四七四
FAX 〇一五七―二四一七四七四

今年、昭和百年に当たり、その中の終戦は同時に原爆投下、東京大空襲八十年であり、阪神淡路大震災とオウム真理教の地下鉄サリン事件がそれぞれ三十年になります。

大きな出来事の節目の年ということ、テレビや新聞、雑誌などで特集が組まれたので、改めてそれらを思い出し振り返った人も多いと思いますが、ただ単に懐かしく思い出すだけという種類のものではないことは誰もが知るところでしょう。これらの出来事は、その先の国のあり方や人々の暮らし方考え方を大きく変えていくきっかけになりました。

顧みれば、二十世紀の長い世界の歴史のうちには、数え切れないほどの出来事がありました。その中を一筋に貫き通し願いつつ生きてきたものは、人の生命の尊さを知り守ることです。そして今、二十一世紀もすでに二十五年、我が国も激動の昭和が終わって三十七年、最近のコロナ禍やかけがえ

のない多くの命が失われた出来事の節目の年に当たると今だからこそ、本教の願いの中心である天地のいのちに生き、生かされてある我々ということを基に、過ぎ去ったこれまでの歳月が持つ意味について改めて向き合い深く問い直す必要があると思います。

(矢代)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四―四一―三五五
FAX 〇一五四―四一―三六一

「ディスコダンス」で

元氣二信心②

たまたま、ある信奉者さんが、「この方はディスコダンスを知っている」と見込んだ人に、「ディスコダンス」を教えてくださいませんか、と頼んだ。そこから、「私も教えて」と言う方がいて、

それなら10時のご祈念の後にどうだろうということになった。さらに、申し込んだ人が、「水曜日が良いんだけど」と言ったら、そこにいた皆が、「うん、それで良い」と言うことになって毎週水曜日のご祈念後から、お昼頃までと決まった。

ご祈念の時間を、10時に決めた時から、お参りの方は殆どなかった。だが、水曜日だけは4〜5人の方がお参りに来るようになった。

思えば、もう40年近くも前になるうか、朝5時にご祈念をしていた時だ。その時は、5〜6人の方がお参りしていた。釧路にもう一つ教会があつて、その教会では、14〜15人の方がお参りをしているという噂話がどこからか聞こえてきて、釧路の信奉者の方が、釧路の教会も頑張る

うと言うことになって、15人とはいかなかったが、10人前後の方々がお参りをしていた時期があつた。その別の教会は今はなくなっている。

私は布教に熱心な方ではないらしい。

しばらくは、その5時のご祈念は続いていたが、年齢も増してきて、ご帰幽になる方もできてきたり、朝5時に起きるのが辛くなり、10年前頃に、ご祈念の時間を10時と決めた。思っていたとおり、誰もお参りがなくなつた。それでも、一人でお参りを続けていた。神様が見かねたか、ダンスとセットになった。これからはどんなことになつていくか、神様の方が、ハラハラしているかも。

(江郷)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七―一―三三三
FAX 〇一五五七―一―四二二

シマエナガという白くてまん丸でモフモフで愛らしい小鳥の姿をテレビや雑誌で見る機会が増えました。ヌイグルミやお菓子になつたりもしています。いまや北海道を代表するキャラクターの一つになり、「シマエナガが見られる」ということで、観光客やカメラマンが訪れるようになった所もあります。

先日、そのシマエナガが教会の境内に飛んできました。枝に3羽ほど並んでとまっている姿は、まさに雑誌やテレビで見る姿です。「あ！すごい！シマエナガだ！」と思わず声に出してまいりました。

シマエナガが見られたのはラッキー！「シマエナガが見られる教会」って宣伝でもしようかと思いましたが、よく考えてみると「そ

じめてそのかわいさに気づき、人がチャホヤしている状態を見てはじめてその価値に気づくのです。

ういやこの小鳥つて昔からよく見るよな」と思い当たり、家族に聞いてみても「昔からいる」、「しょっちゅう来る」ということで、別

これって、何かに似てませんか？みなまで言うな、そう神様のおかげです。私達の身の回りは、私達に「助かってくれ、生きてくれ」と願う神様のおかげにあふれていま

段珍しい鳥ではないことが判明。そもそも北海道の森や林がある所ならどこにでもいる見慣れた鳥なのです。でもそれが何故か、マスコミなどで取り上げられると

私を支え助けてくれる色々な働き、それこそ、二十四時間、いつでも色々な働きに生かされている私ですが、その働きは当たり前すぎて：「ありがたい」とはなかなか思えません。お取次や人の体験を聞き、信心することであらためて、当たり前前の働きのありがたさに気づかされ、幸福や安心、つまりさらなるおかげを受けられます。

「ぜひ見てみたい」となり、見ることができれば「やった！」と感動し幸福度が上がってしまうのです。繰り返しますが本当はその辺に普通にいる鳥です。あたりまえなので普段は気にもと

不思議なもので「境内にシ

めません。人に言われては

マエナガが飛んでくる」ということが分かれると、今度は、「また見られないか」と気になって注意深く眺めるようになりました。神様のおかげも、一度それになんか気づくと、今度は神様のことが気になってしょうがなくなります。常に神様に心向けられるようになります。

当たり前だと思つて見過ごしてきたことが、本当は大切なことなんだと気づかせてもらえる。身の回りの事もっと気をつけてみるのもいいかもしれませんね。

（玉置）

道東地区各教会 春秋の大祭日程

	春	秋	
釧路	5月25日(日)	10月26日(日)	午前11時
北見	5月3日(祝)	11月3日(祝)	午前11時
十勝	4月13日(日)	11月16日(日)	午前11時
帯広	4月20日(日)	11月9日(日)	午前11時
網走	5月18日(日)	10月19日(日)	午前11時

交流会（懇親会）と研修会のお知らせ

恒例の連合会交流会（懇親会）と研修会を今年も開催します。みなさんぜひご参加ください。

○交流会（懇親会です）

日時 7月5日（土）午後5時（時間が変更になることがあります）
会場 釧路教会

○研修会（わがところから神心へ地区集会）

日時 7月6日（日）午前9時30分
会場 釧路教会
内容 金光教について疑問に思うこと

（普段使っている拝詞集をもとに）

▽交流会の参加費等、詳細はあらためてご案内します

行事報告

▼令和6年度役員会

・令和6年11月23日（土）午前10時30分

・北見教会

・内容 令和6年度活動、収支中間報告

次年度活動計画案、予算案

・出席者 9名

▼令和7年度総会

・令和7年3月22日（土）午後1時

・十勝教会

・内容 令和6年度活動報告、決算報告

令和7年度活動計画、予算

研修会の内容について

・出席者 8名

総会議案はすべて承認されました。



道東地区教会連合会ホームページ（PC用）
<https://konkotokachi.stars.ne.jp/kyokai/doto/>

ご意見をお寄せください
konkodoto@gmail.com